

認知症の予防や改善には長期間にわたる対処が重要

ANM176®の効果を確認する「ANM176 利用者アフターサービス」は昨年10月から開始し、1年が経ちました。本サービスを申し込まれるとお買い求めになった徳用のANM176商品*にアンケート(アフターサービスアンケート)が同封され、このアンケートの結果の推移から、ご自身に対するANM176®の効果を確認できます。

*ANM176商品は、認知症の改善効果が臨床試験で示されているANM176®を有用成分とする補助食品です。アルツハイマー病の原因タンパク質と考えられているアミロイドβ(Aβ)には、マウスの試験で記憶力や学習を阻害するAβ神経毒性がありますが、漢方生薬のトウキには13種類のAβ神経毒性を抑制できる成分が含まれています。トウキは医薬品で食品には利用できないため、トウキの仲間ヨーロッパでは古くからハーブとして食品に利用されているガーデンアンゼリカ根に着目しました。ところがガーデンアンゼリカ根には、Aβ神経毒性抑制13成分の1つであるフェルラ酸がほとんど含まれておらず、また、Aβ神経毒性抑制成分中の重要な成分も安定して含まれていません。そこで、ガーデンアンゼリカ根を厳選し、その抽出物に米ヌカ由来のフェルラ酸を配合し、最も効果的にAβ神経毒性を抑制できるように開発された素材がANM176®です。ANM176®は、143名のアルツハイマー病患者を対象に9ヵ月間にわたりANM176®を使用した臨床試験で、アルツハイマー病の改善に有用なことが確認され、そのデータから認知症の予防にも役立つ可能性が推察されます。

アフターサービスアンケートは20問に✓を入れるだけの簡単なものです。一般社団法人 認知症予防・改善推進会に送っていただいた記憶力、認知機能、日常生活活動(ADL)の現状についてのアンケート内容を数値化し、その結果を、本サービス利用者にお送りします。何回かのアンケート結果の推移から、ANM176®がお役に立っているか否かを確認することができます。

現在までに集まった3回目までのアフターサービスアンケートデータの平均値の推移を右図のグラフにしてみました。この数値は、大きいほど悪い状態で、0に近いほど正常なことを示しています。統計的な解析ができる例数までには至っておりませんが、多くの平均値は経過に伴い低下し、その低下は若いほど顕著です。

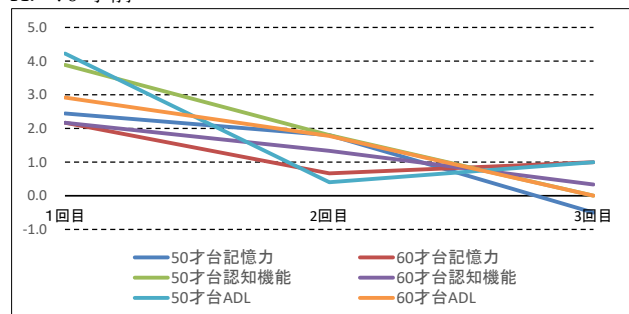
高齢になると脳機能は低下しますが、何らかの要因が加わると様々な神経の機能不全や損傷が起こり神経変性疾患を発症します。アルツハイマー病などの認知症も神経変性疾患の一種で、その発症には、高齢に加え、ライフスタイルや環境の変化が多因子的に関係すると考えられています。高齢やアポリポタンパク質Eの遺伝子型は、いたし方ないとしても、ライフスタイルや環境は改善できます。体には恒常性維持(ホメオスタシス)の仕組みが備わっていますが、高齢になると原因が不明なホメオスタシスの乱れが長引くことがあり、この結果、内因性の炎症が慢性化して高齢者によくある様々な病気の原因になると考えられています。認知症もこれらの病気の1つとされています²⁾。

このホメオスタシスの仕組みは様々な要因が関係し、複雑でよく分かっていないため、認知症の予防や改善には、色々試してみて、自分に合った方法を見出す必要があります。それには、安全な方法で、長期間(6か月以上)、安定的に試すことが重要です。また、様々な方法を組み合わせてみることも必要かもしれません。科学的な基礎がある認知症の予防や改善方法を試した結果を、お互いに共有して、無意味や有害な方法を避けることにも意義があります。

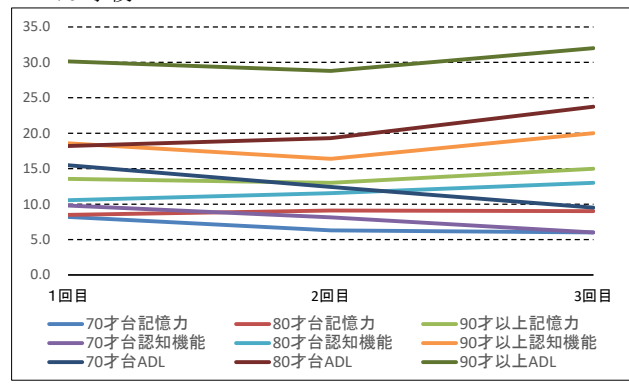
文献: 1) 中村 重信,他 *Geriatr Med.* (2008) 46:1511-19
2) Li Q et al., *Aging Cell* (2015) 14(6):1103-12

70才前と後のアフターサービスデータの平均値推移

A. 70才前



B. 70才後



☆「ANM176 利用者アフターサービス」は、ANM176 商品の代理店や当法人のホームページからお申し込みいただけます。